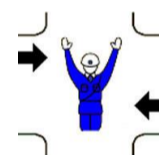


第1段階学科教習勉強用問題9

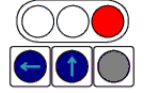
- 問題 1 車両通行帯のある道路では、追い越しなどやむを得ない場合のほかは車両通行帯からはみ出したり、2つの車両通行帯にまたがったりして通行してはならない。
- 問題 2 この標識は、前方の交差道路に対して優先道路であることを表している。
- 問題 3 補助標識とは、案内標識のように交通規制を目的にしている標識である。
- 問題 4 飲酒運転は運転者本人の自覚によるもので、第三者が運転しようとしている人に酒を提供し、または酒をすすめても責任にはならない。
- 問題 5 この標識は、この先に学校、幼稚園、保育園などがあることを表している。
- 問題 6 仮運転免許は、第一種運転免許を受けようとする者が、練習などのために普通自動車などを運転しようとする場合に必要である。
- 問題 7 普通自動車ではほかの車をけん引する時は、けん引する自動車の種類に応じた運転免許の他にけん引免許が必要であるが、けん引される車の総重量(人や荷物を乗せた状態での車全体の重さ)が750kg以下であればけん引免許は必要ない。
- 問題 8 この標識のある道路では、原動機付自転車は進入できる。
- 問題 9 後退する時の合図の時期は、後退しようとする時である。
- 問題 10 交差点で右折しようとする時は、あらかじめできるだけ道路の中央により、交差点の中心のすぐ内側を減速しながら通行しなければならない。
- 問題 11 バックで発進する事は危険なので、車庫などに入れる時は、あらかじめ発進しやすいように後退で入れておくのがよい。
- 問題 12 シートベルトは乗員を守るためのものであり、同乗者の着用も運転者が指導しなければならない。
- 問題 13 交差点や交差点付近以外を通行中に後方から緊急自動車が近づいてきた時は、車は、道路の左側によって進路をゆずらなければならない。
- 問題 14 このような警察官の手信号の時は、矢印方向から来る交通に対して信号機の青色の灯火と同じ意味である。
- 問題 15 この標示は、前方に横断歩道があることを表している。
- 問題 16 踏切とその手前30メートル以内の場所では、追い越しが禁止されている。
- 問題 17 路面が濡れている道路でブレーキをかける時は、ブレーキペダルを一気に踏み込むのがよい。
- 問題 18 車両通行帯のあるトンネルの中は、自動車や原動機付自転車を追い越すことができる。
- 問題 19 優先道路を通行している場合は、交差点の手前30メートル以内の場所でも追い越すことができる。
- 問題 20 この標識は、この先が行き止まりになっていることを表している。
- 問題 21 同一方向に二つの車両通行帯がある道路では、右側の車両通行帯を通行するのがよい。
- 問題 22 この標識は、歩行者や軽車両以外の通行止めを表している。
- 問題 23 信号機のない交差点で、交差道路の幅員が広い場合や交差道路が優先道路の時は、一時停止か徐行して交差道路を通行している車の進行を妨げてはいけない。
- 問題 24 仮運転免許で運転練習する場合は、運転免許を受けて3年を過ぎた人の指導を受けて練習することができるが、免許ならどんな免許でもよい。
- 問題 25 この標識は、「指定方向外進行禁止」を表している。
- 問題 26 仮免許を受けた者が練習のため自動車を運転する時は、仮免許練習標識を車の前と後ろの定められた位置に付けなければならない。
- 問題 27 この標識は、原動機付自転車や軽車両を除く車両通行止めを表している。
- 問題 28 一方通行になっている道路では、道路の中央から右側部分にはみ出して通行できるが、この場合には、はみ出し方ができるだけ少なくなるようにしなければならない。
- 問題 29 この標識は、道路の中央に寄った方がよいことを表している。
- 問題 30 車のブレーキのかけ方は、最初はできるだけ軽く踏み、それから必要な強さまで徐々に踏み込んで速度を落とすのがよい。
- 問題 31 交差点を右折しようとした所、対向車が見えたが、対向車の妨げにならない、十分右折できるだけの距離がある場合は、通過を待たずに先に右折することができる。
- 問題 32 この二つの補助標識は、同じ意味である。
- 問題 33 横断歩道や自転車横断帯に近づいた時、横断する歩行者や自転車がいないことが明らかな場合であっても、徐行して通行しなければならない。
- 問題 34 この標示板が設置された交差点では、信号機の色に関わらず、左折することができる。
- 問題 35 歩道や路側帯のない道路では、路肩(路端から0.5mの部分)を通行することはできない。



問題 36 路面が雨に濡れ、タイヤがすり減っている場合の停止距離は、乾燥した路面でタイヤの状態がよい場合に比べて2倍程度にのびることがある。

青色の矢印

問題 37 このような青色の矢印の信号機は、直進と左折をすることができるが、右折する車は、右折の矢印信号が出るまで交差点の中心で停止していなければならない。



問題 38 同一方向に進行しながら進路を変えようとする時は、進路を変えようとする時の約3秒前に合図を行う。



問題 39 この標識は、この先の道路が滑りやすくなっていることを表している。

問題 40 道路の左側部分の幅が6m未満の見通しのよい道路では、道路の右側部分にはみ出してほかの車を追い越すことができる。



問題 41 この標示は、この先に横断歩道か自転車横断帯があることを示している。

問題 42 歩行者用道路は、その沿道に車庫を持っている車などは、警察署長の許可を受けて、特に歩行者などに注意して徐行すれば通行することができる。

問題 43 踏切を通過する時は、変速をしないで発進した時の高速ギアのまま一気に通過するのがよい。

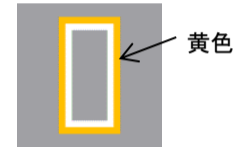


問題 44 この標示のある道路では、車は30キロメートル毎時以下で走行しなければならない。

問題 45 横断歩道や自転車横断帯とその手前30メートル以内の場所では、自動車や原動機付自転車を追い越したり、追い抜いたりしてはならない。

問題 46 車を車庫に入れるために歩道を横切る場合、歩行者がいる時は一時停止をし、その通行を妨げないようにしなければならないが、歩行者がいない時は徐行すればよい。

問題 47 歩行者がいない時は、車はこのような図の標示の中に入ってもよい。



問題 48 エアバックを備えている自動車を運転する時は、シートベルトは着用しなくてもよい。

問題 49 前車が右折などのため、道路の中央(一方通行の道路では右端)によっている時や路面電車を追い越す時は、左側から追い越さなければならない。

問題 50 この標識は、「幅員減少」を表している。



第1段階学科教習勉強用問題9 解答

↓ ^{りしゅうばんごう}履修番号を教習項目に置き換えて、^{きょうほん}教本で調べて勉強してください。

もんだい 問題 1	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 26	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10
もんだい 問題 2	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 27	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 3	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 28	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 4	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1	もんだい 問題 29	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・4
もんだい 問題 5	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 30	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 6	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 31	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 7	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 32	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 8	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 33	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 9	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8	もんだい 問題 34	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2
もんだい 問題 10	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 35	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 11	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8	もんだい 問題 36	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 12	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1	もんだい 問題 37	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2
もんだい 問題 13	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 38	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 14	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2	もんだい 問題 39	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 15	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 40	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 16	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 41	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 17	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 42	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 18	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 43	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 19	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 44	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 20	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 45	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 21	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 46	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 22	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 47	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・4
もんだい 問題 23	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 48	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 24	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 49	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 25	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 50	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3

☆見直しのポイント

^{ふせいかい}不正解だった^{もんだい}問題やわからなかった^{もんだい}問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを^{がつかきょうほん}学科教本を使って^{つか}理解できるまで^{りかい}勉強^{べんきょう}しましょう。→^{もんだい}問題で覚えると、^{おぼ}問題文^{もんだいぶん}が変わるとわからなくなります。